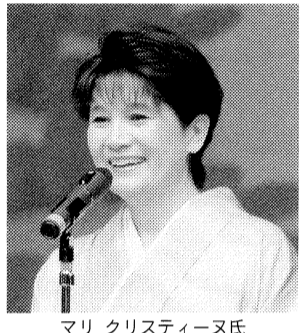


# 観光と国際交流で魅力ある中部を

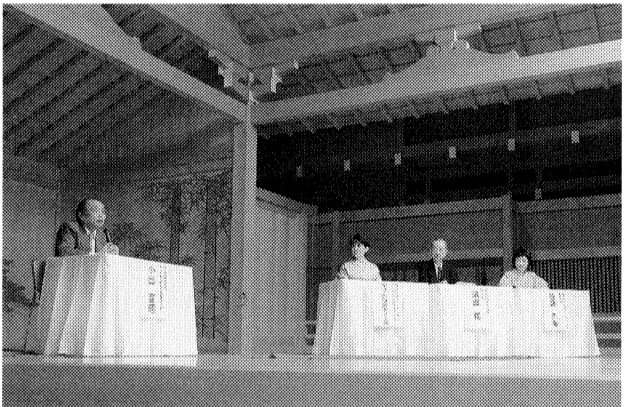
交流を拡大する  
国土形成計画シンポジウム  
魅力ある中部のかたち

## 万博が示した市民参加の力

二十一世紀にむかひ国土形成と中部の方を考ふる「国土形成計画シンポジウム」が十一月二十日、名古屋市中区にある名古屋能楽堂で開かれた。主催は国土交通省中部地方整備局と中部運輸局。中日新聞社、愛・地球博の成果を踏まへ、魅力ある中部づくりのために人々の交流や国際交流をいかに広げ、深めていくか、四人の有識者が意見を交わした。会場に詰めかけた市民、行政関係者ら約四百人が熱心に耳を傾けた。



マリ クリスティヌ氏



これからの中部づくりについて語りあうパネリストたち  
一名名古屋市中区の名古屋能楽堂にて

本にしかないものです。彼らを迎えた側も自分の地域の見つけ直した。グリーンリを取りつたベネッセの女性監督は地域のお祭りに注目し、文化の共通性を見だし、それを映画にしてみました。二十一年の素晴らしい映画が完成したのは、受け入れ地域のホスピタリティのおかげだと思います。

小出 いい話ですね。国際交流というのは、私は段々のお付き合いでできるとは思っていない。世界で国際都市と言っているのはニューヨークとロンドンだけです。隣近所の、おだんさんの生活のなかにいろんな国の人がある。その点、東京は国際色のある都市といっただけで国際都市ではない。

そこでこの地域に昔話の国際交流が得意な国際交流特区をつくったらどうか。世界の物産が分るから、お互いの理解も深まると思つていますが。

佐藤 面白いですね。でも、愛知には現在でも四十四万四千人、二十万人の外国人が住んでいます。国連加盟国は百九十二ですから、たぶんその国の人が、すでにこの地域に住んでいるんです。隣に住む外国人の人間と交流することを考える時期に来ていると思います。

異文化への尊敬を  
マリ 私は日本へ来て、アイデンティティ・クライシスを体験しました。もともと私は日本人であり、イタリア人であり、アメリカの文化も持つ人間だと思つていました。ところが日本へ来た日本人と見てもらえない。じゃ私は何なの、と。

今ではハルビヤン、ダブルであり、トリプルもあるが日本へ来てつらいのは少数派になると聞かれないことと、欧米人には尊敬の念を持ちますが、アジアの人を尊重しきれない。

これからアジアとの付き合い合います。大事になるなかで、地域単位の交流を通じてだけ相手の文化を理解し尊敬するから、そこから自分の国への知識も湧くと思つてます。

須田 その点でも、万博の成果をフルに生かすことが必要です。万博の出発点、他の地域や世界に忘れられないように交流を進め、それが中部の使命だと思います。

小出 ありがとうございます。

企画・制作 中日新聞広告局

## 魅力ある中部のかたちを描く「国土形成計画」づくりが進んでいます。

国土形成計画とは、新しい時代に合った、国土づくりの長期ビジョンです。

この計画は、国全体の方向を示す「全国計画」と、広域地方ブロックごとの「広域地方計画」の二つからなり、全国計画は平成19年中ごろ、中部圏の広域地方計画は全国計画策定の1年後を目途に策定する予定です。



### 全国計画の進み具合は？



このほど全国計画の策定に向けて国土審議会計画部会中間とりまとめが公表されました。そこから新しい国土づくりのポイントが見えてきました。

#### 中間とりまとめ 4つのポイント

##### 1 人口減少が国の衰退につながらない国土づくり

人口減少・高齢化の中でも、高質な公共サービスの提供、生活環境の維持が図られる方策を示します。

##### 2 東アジアの中での各地域の独自性発揮

空間的視野を広げ、東アジアの中での地域の個性と魅力、国際機能を捉え直します。

##### 3 地域づくりに向けた地域力の結集

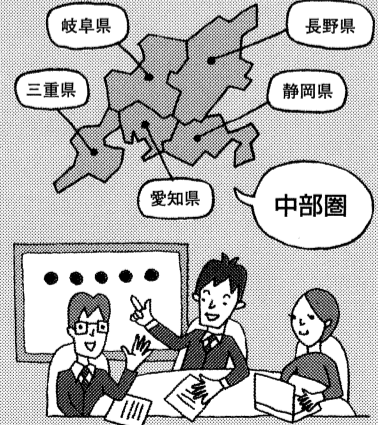
多様な民間主体を担い手として位置づけ、従来の公、さらに公と私の中間領域で協働することを期待します。【「新たな公」】

##### 4 多様で自立的な広域ブロックからなる国土

①～③を実現するため、広域ブロックを単位とする自立的圏域の形成という国土構造構築の方向性を示します。

### 中部圏では？

計画づくりを進めるため、「中部圏広域地方計画協議会準備会」を設立しました。



※協議会準備会は、国の地方行政機関、県、政令市に加え地元経済界で構成されています。